

「岡山市民の日記念事業」

岡山市地域ケア総合推進センター開設記念講演会

『平穩死10の条件』いのちと向き合うとき ～在宅で地域で、知っておきたいこと～

日時:平成27年 5月30日(土)13:30～16:00

場所:岡山市地域ケア総合推進センター 多目的ホール (新)岡山市立市民病院1階

開会あいさつ (岡山市長 大森 雅夫)



講演 『平穏死10の条件』 いのちと向き合うとき ～在宅で地域で知っておきたいこと～

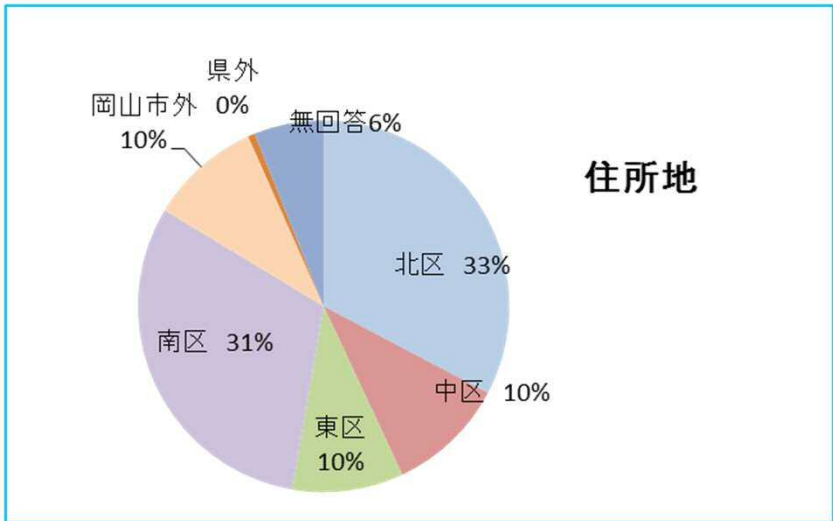
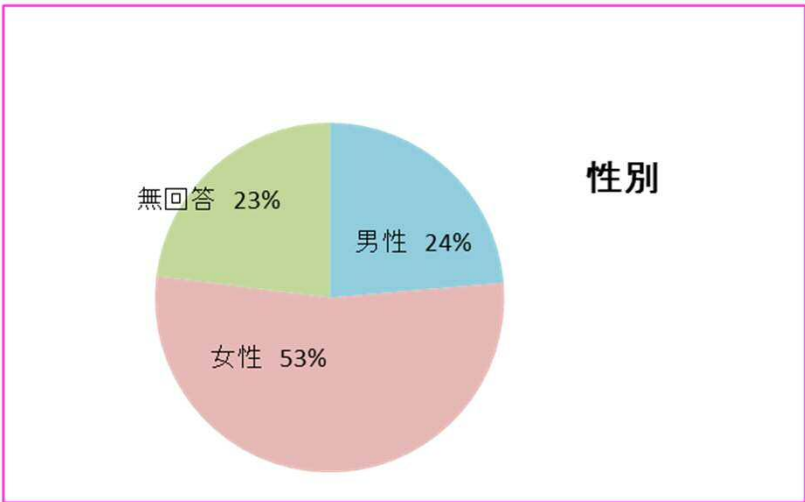
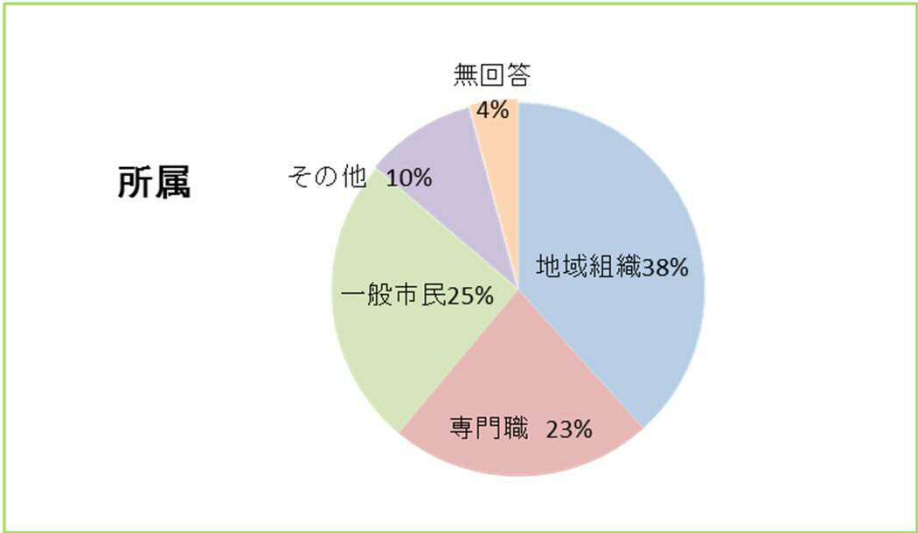
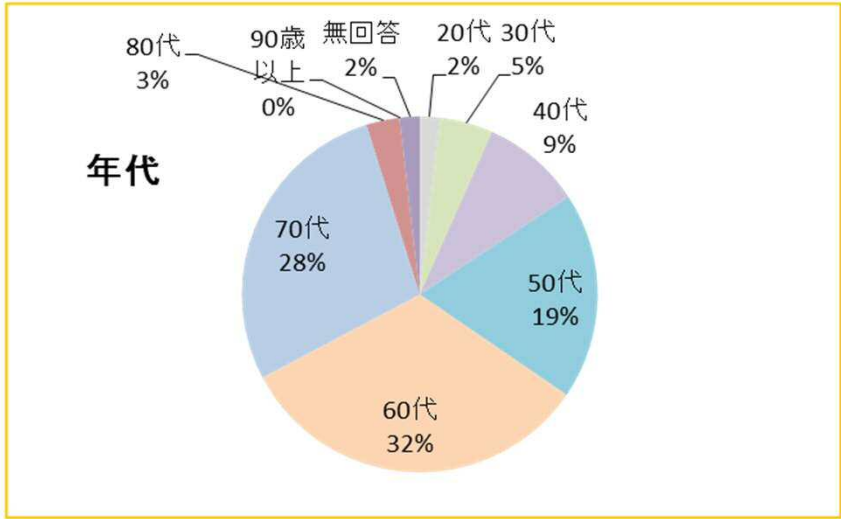
長尾クリニック院長 長尾 和宏 氏



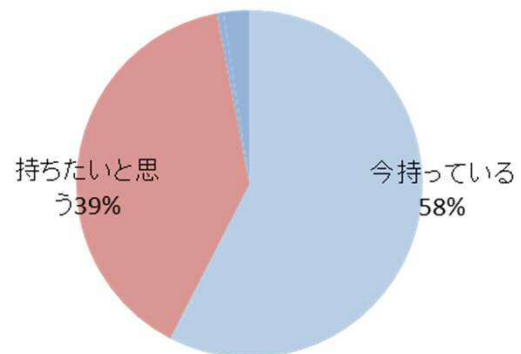
※会場いっぱいの約300人の市民の方が熱心に講演を聴かれました

参加後のアンケート

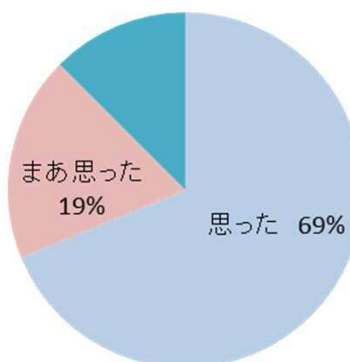
回収: 165枚



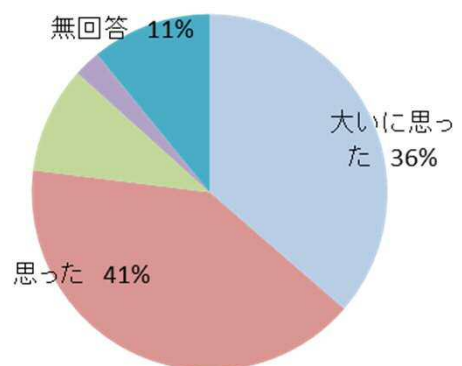
1. 近隣の診療所でご自身のかかりつけ医はお持ちですか？



3. 人生の最終段階におけるケアについて、ご家族と話し合っておきたいと思われましたか？



2. 在宅医療・介護を受けてみたいと思えますか？



4. その他ご意見や印象に残ったこと等がございましたら、ご記入ください。

- すばらしい数々の感動をいただきました。人の死について、改めて考える機会をいただき、ありがとうございました。発想の転換ができそうです。先生いつまでもがんばってください。(60代女性 他数名)
- これから96歳の母を在宅医療に向かっていくべきと強く思いました。(60代女性)
- あたたかいお気持ちの先生がおられることに、ほっとしています。大きく広がってほしいものです。(60代女性)
- 人生で一番大切なものを聴いたように思う。やさしい気持ちになりました。(60代女性)
- 薬の恐ろしさ、どうやって良い医師と出会うか、家族と話し合うことが大事だと思います。(50代女性)
- 訪問看護師として、これからも地域で暮らす人々とふれあい、お役に立ちたい。(30代女性 他数名)
- 平穏死についてよく理解ができました。(60代男性 他数名)
- 平穏死は一人暮らしでもできるのでしょうか。(70代女性)
- リビングウィルの会員になりたいと思った。(60代女性 他数名)
- 介護を「快互」に。(30代男性 他数名)
- お話がとても心に残りました。また長尾先生にお会いしたい(30代女性 他数名)
- 映像がすばらしかった。ビデオのお年寄りの笑顔がすてき。(60代男性 他数名)
- ユーモアもあり、わかりやすかった。(60代女性 他数名)
- 母が92歳で認知症ではありませんが、エンディングノートでなくリビングウィルを書こうと思いました。チューブ人間にはしたくないと強く思いました。本を必ず読みたい。(50代女性)
- 3年前に祖母がいっぱい管につながれて一人で病院で息を引き取りました。もっと早く平穏死のことを知りたかった。平穏死について学ぶことができ、とても良かったです。(40代女性)
- 来てよかった。利用者の背景にあるものや、尊厳を大切に日々介護に携わりたいと思った。(40代女性)
- 長尾先生の本を読み、父を自宅で看取りました。在宅医、訪問看護の人間的な素晴らしさに頭が下がりました。本当に先生の本のお蔭です。ありがとうございました。(50代女性)
- 「大病人」の映画を見てみたいと思いました。(40代女性)
- 生かされている命を思い、日々を大切に生きること、一日一日人のために尽くすことが与えられた使命としました。夫や子供たちとも話し合う機会を持ちたい。残された日々を明るく生きていきたい。先生、ありがとうございました。(70代女性)